

インターネットの活用

インターネットで主に用いられているWWWサーバは、これまではテキストデータとイメージデータが主で、ブラウザから見てもカタログを見るようなものでしたが、急激に普及して来たことによっていろいろなものを取り扱うことができ、WWWが変わってきています。代表的な新技術はShockwave、Java、VRML、QuickTimeVR、DirectXなどです。この内有名なものはJavaとDirectXになるかと思いますが、この2つ以外について簡単に説明してみます。

- ・ ShockWave : 正確にはShockWave for Directorといい、CD-ROMタイトルの作成やアニメーション作成の定番ソフトウェアであるDirector (石川情報システムフェアのセキュリティシステムのデモもこのソフトで作成されていました) のデータをインターネット上で配布できるデータ形式に変換するソフトで、このソフトでつくられたWWWサーバにアクセスするとCD-ROMと同様に操作することができます。三菱商事のWWWサーバなどが採用しています。
- ・ VRML : 3次元空間を表現するためのデータ記述言語で、空間を構成するフレームにテクスチャデータを張り込むことによって3次元空間を表現し、ブラウザ上で3次元空間に入ってみてまわることができます。
- ・ QuickTimeVR : Mac用に作られた動画処理ソフトQuickTimeにバーチャルリアリティ(VR)機能を追加して3次元対応としたもので、チケット販売で購入しようとする座席からの視野を確認できるサービスなどに採用されようとしています。
- ・ StreamWorks : インターネットを使ってビデオ・オン・デマンドやライブ中継、インターネットTVなどを可能とする技術で、マラソン中継などで実験されています。
- ・ RealAudio : StreamWorksと同様なオン・デマンドの形態で音声データを配信できる技術

これらに対してJavaやDirectXは、アプリケーションを作成することのできるプログラム言語で、これまでのEXCELなどと互換のある物が作られています。JavaはSun Microsystemsが開発したC++ライクなプログラム言語で、アプリケーションをappletと呼ばれる小さなプログラム単位に分けて必要に応じて、その都度ダウンロードすることで処理することができるようにするもので、プログラム本体を各ブラウザではなくWWWからダウンロードすることによって処理しますので、ブラウザによってプログラムのバージョンが異なることがなく、管理しやすくなります。DirectXはマイクロソフトが開発した同様の言語で、Javaに対抗するために開発され、Windows 95に対応しています。

(情報誌トピックス)

○ 経工誌 5月6日号

特集 インターネットで翔べ！日本の電子技術者

→インターネットは世界レベルで情報の交換ができる。ネットワークで結ばれ、アメーバのようにグループの姿を変えながらプロジェクト後とに適切な面罵が結びつきあって開発を進める。まとめ役になるプロデューサーと技術エキスパート、2種類の才能がぶつかったところに新しい活躍の舞台が広がる

解説 インドをLSI設計拠点に 欧米半導体メーカーが続々進出

→インドはLSI設計とソフトウェアに力を持っている

○ 経オゾ誌 5月号

特集 イントラネット

WWWで文書共有、DB連携環境も整う

→WWWを活用した情報共有はインターネット技術の社内利用の中で最も効果のある利用形態であり、応用範囲は広い。WWWの基本機能は文書共有だが、電子会議、データベース検索も市販ソフトによって可能となってきた。イントラネットの構築が容易になってきている

検証 Windows NT Server 3.51の追加ソフトFPNW

Windows NT環境とNetWareを完全統合する

→FPNWはWindows NTにNetWare 3.x互換のサーバ機能を追加する製品。NetWareユーザは変更なしにWindows NTサーバにアクセスすることが可能となる

○ 経マル誌 5月号

特集 マルチメディアネットワーク革命

CATV、衛星、OCNで10倍速く安くなる

→高速ネットワークを持つCATVが低価格を武器にインターネットサービス市場に参入する。衛星を使ったデータ放送も始まる。NTT版インターネットOCN(オープンコンピュータネットワーク)が登場する。マルチメディアのネットワークインフラは様変わりする。

メディアトレンド 営業支援に定着する電子カタログ

→CD-ROMやインターネットを使った電子カタログの活用が始まっている

チャレンジャー J-WAVE

Real Audioで音楽番組を放送、FMを越えた商業メディア確立へ

→J-WAVEは東京エリアのFM放送局だが、Real Audioを使ってインターネットを使った放送を実験的に実施した

クローズアップ 大手メーカーがイントラネット市場へ、製品/サービスが一挙に増える

→コンピュータメーカー、大手ソフト会社がイントラネット市場へ一気に参入を始めている

○ P C W A V E 6月号

特集 世代交代が進む「ノートPC」

→ノートパソコンの特集。三菱はAMITY SPを中心にNoteFX、noteSXが登場。ノートパソコンの現状とこれからについて

特集 CPU換装計画

→CPUのアップグレードの最新とその方法

○ L A N T I M E 6月号

特集 広域ネットワークでの回線選択

→最近データ通信分野におけるサービスメニューが増加しているが、企業のネットワーク化に必須のデータ通信サービスの新しい潮流の紹介と、フレームリレーサービスとISDNについての利用動向の特集

INTEGRATION NetWareWebServer2.1JでWWWサーバを構築する

→NetWareWebServer2.1JはNetWare4.1J上でWWWサーバを構築するソフト。今回と次回でその特徴や設定方法を紹介